

實語教初編講義

完



附リ 作者 山東京傳
 魔六光取新玉に賣初吉や
 金夜糸
 實語教初編講義
 兼 積色八巻 山形に著の定稿
 東錦繪
 中 板元通油町 繪

へ13
 2946
 38



2946
38



余が州廬の傍に六七個の童子あり常
 窓前に來りて遊戯す其長は見えぬ小善悪
 少も小染に毛を以て昔孟母聖居を移す
 宜哉幼は白糸の如く青く染むハあねく
 黄小染れハ黄あり則朱小交ハ赤木
 實語教ハ繪解一も彼童等ハ戯物小
 授布其素小緒をとり者ハ

壬子春

山東京傳



あらうきのこころしるあはれ...
 こころをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...



あらうきのこころしるあはれ...
 こころをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...

あらうきのこころしるあはれ...
 こころをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...



あらうきのこころしるあはれ...
 こころをうつしてあはれ...
 あはれをうつしてあはれ...

あらうきのこころしるあはれ...
 こころをうつしてあはれ...

狂不磨梅光
 每光為石尾
 人不學每智
 每智為
 愚人

へんらそがひさしきとてさかたがね
 のうぬひもてもさかたがね
 てかたがねてかたがね
 りんさかたがね
 いんさかたがね
 上もさかたがね
 うらさかたがね
 りんさかたがね
 下もさかたがね
 せんさかたがね
 せんさかたがね



せんさかたがね
 せんさかたがね

あんたのうぬひもてもさかたがね
 のうぬひもてもさかたがね
 てかたがねてかたがね
 りんさかたがね
 いんさかたがね
 上もさかたがね
 うらさかたがね
 りんさかたがね
 下もさかたがね
 せんさかたがね
 せんさかたがね



あんたのうぬひもてもさかたがね
 のうぬひもてもさかたがね
 てかたがねてかたがね
 りんさかたがね
 いんさかたがね
 上もさかたがね
 うらさかたがね
 りんさかたがね
 下もさかたがね
 せんさかたがね
 せんさかたがね

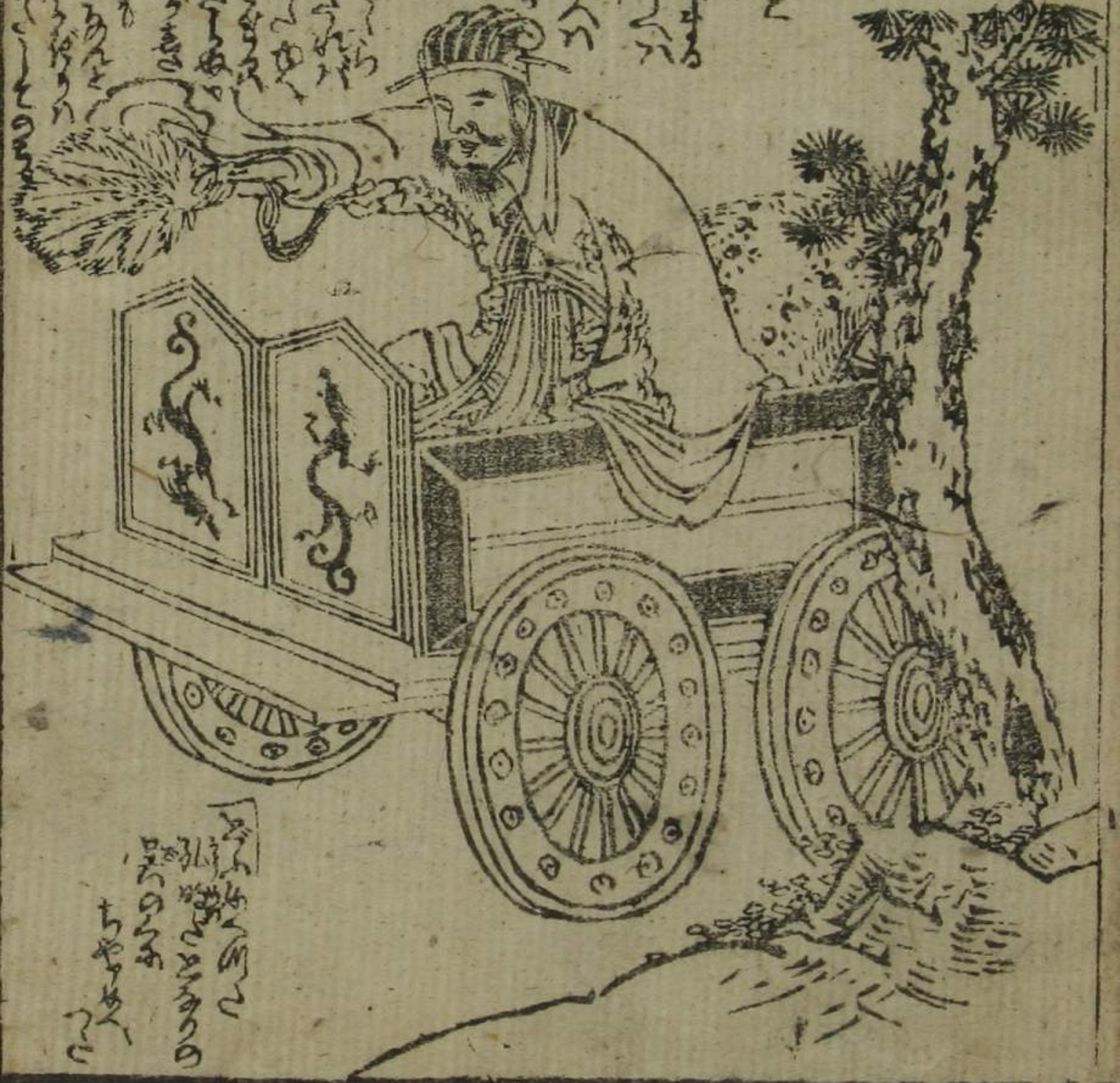
あんたのうぬひもてもさかたがね
 のうぬひもてもさかたがね
 てかたがねてかたがね
 りんさかたがね
 いんさかたがね
 上もさかたがね
 うらさかたがね
 りんさかたがね
 下もさかたがね
 せんさかたがね
 せんさかたがね



根元
 三圖一

倉内殿有柄
舟内之每朽

せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや



かみちのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや

せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや



せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや
せんうのりりたみのよや
ゆんごのりりたみのよや

父母如天地

師居如

日月

父母孝

朝夕

師居仕

昼夜



やんりぬ入あや
目ましくりてま
ひとと
ひとと

父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜
父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜

父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜
父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜

父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜
父母の孝を
朝夕の
師居仕
昼夜



好悪者 花柳 如雷 音

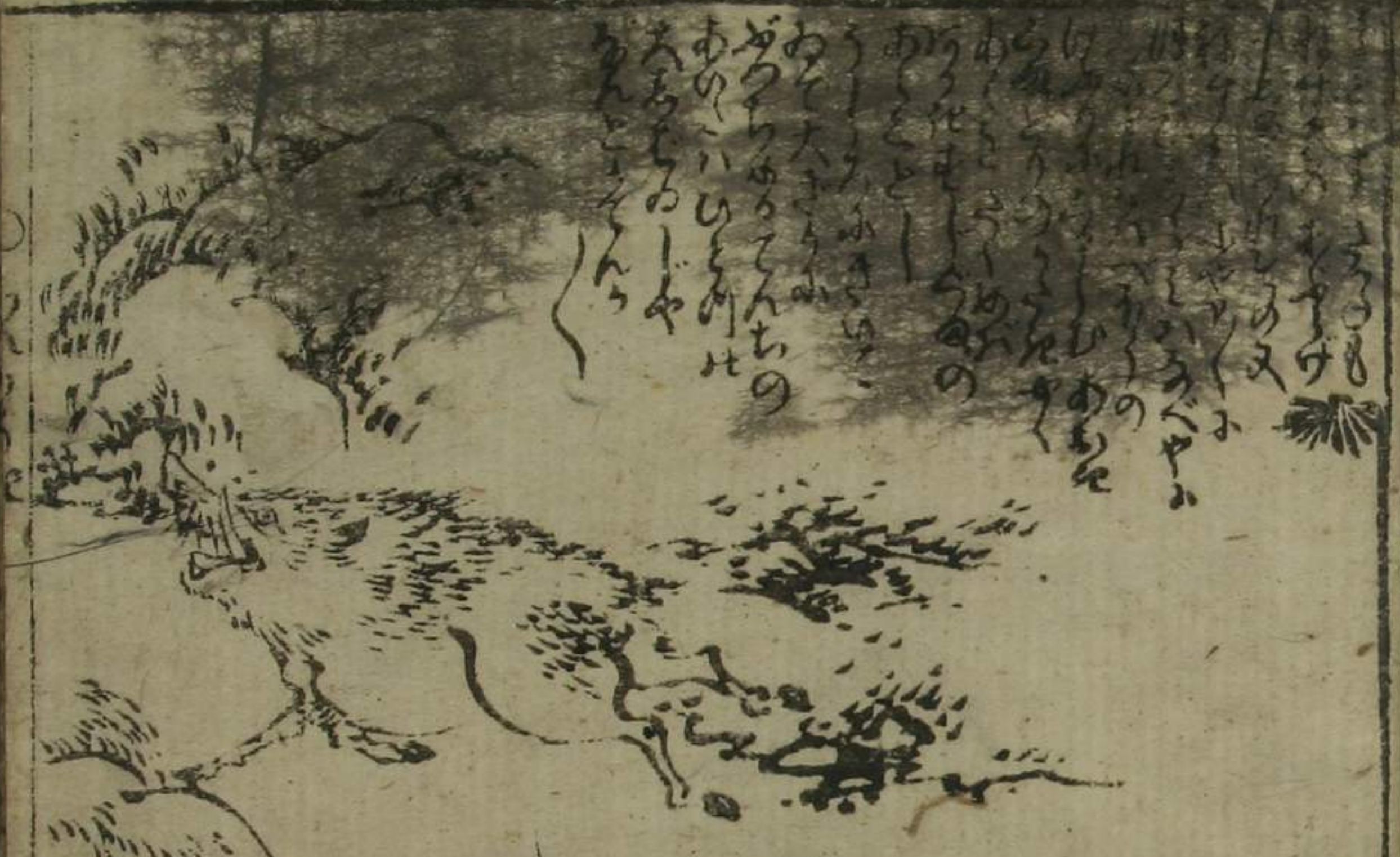
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに

あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに



あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに

あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに



あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに
あつたあつたのついでに

修善寺者善福
 雖富勿忘貧
 善人の徳を慕ふは富より貴し
 貧乏の心を憂ふは徳より高し

善人の徳を慕ふは富より貴し
 貧乏の心を憂ふは徳より高し
 徳は富より貴し
 徳は富より高し
 徳は富より長し
 徳は富より遠し
 徳は富より廣し
 徳は富より深し
 徳は富より大し
 徳は富より多し
 徳は富より美し
 徳は富より善し
 徳は富より賢し
 徳は富より明し
 徳は富より正し
 徳は富より直し
 徳は富より剛し
 徳は富より強し
 徳は富より毅し
 徳は富より剛毅し
 徳は富より剛毅不屈し

あれもうんちりして
 つていかにそのりの
 ついてこそいかに
 さうとこれあり



徳は富より

徳は富より貴し
 徳は富より高し
 徳は富より長し
 徳は富より遠し
 徳は富より廣し
 徳は富より深し
 徳は富より大し
 徳は富より多し
 徳は富より美し
 徳は富より善し
 徳は富より賢し
 徳は富より明し
 徳は富より正し
 徳は富より直し
 徳は富より剛し
 徳は富より強し
 徳は富より毅し
 徳は富より剛毅し
 徳は富より剛毅不屈し



徳は富より
 徳は富より
 徳は富より

難貴の志飾

あまのさるか
うそひのり
なほの
あまのさるか
うそひのり
なほの
あまのさるか
うそひのり
なほの



あまのさるか
うそひのり
なほの

あまのさるか
うそひのり
なほの
あまのさるか
うそひのり
なほの



あまのさるか
うそひのり
なほの

不忠曲後集
巻之八 庭後字文

本のたよりありあはれは田の
り後のとてあつたはるなり
さう火やかの海りてうれはひ
たしつものまじりてうれはひ
りんとるまじりてうれはひ
あつたはるなりあはれは田の
り後のとてあつたはるなり
さう火やかの海りてうれはひ
たしつものまじりてうれはひ
りんとるまじりてうれはひ



ことしやうに
あつたはるなり



あつたはるなり
り後のとてあつたはるなり
さう火やかの海りてうれはひ
たしつものまじりてうれはひ
りんとるまじりてうれはひ

あつたはるなり
り後のとてあつたはるなり

